

消火活動の無人化、省力化の促進

総務省消防庁

消火活動の無人化、省力化の促進

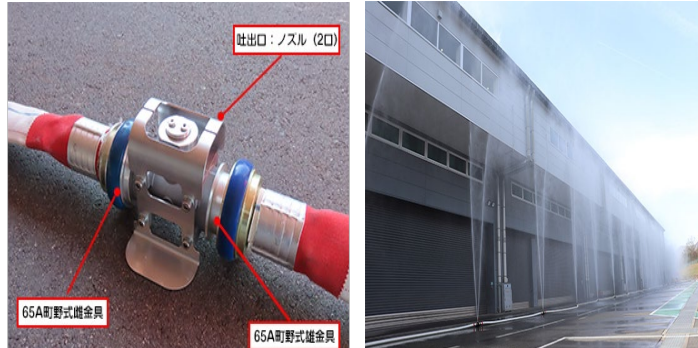
○地震や津波発生時の大規模火災現場で、消防力劣勢下において隊員の安全を確保した消火活動を実施、継続することを可能とする資機材の整備、活用方策の検討、開発の推進を進める必要がある。

【消火活動の無人化、省力化による効果的な消防活動を行うための資機材】



無人消火用ロボット

- ・電動放水銃を装備したバッテリー駆動の遠隔操作型消防用ロボット



水幕ノズル

- ・消防用ホースに接続し、無人で水幕を形成し、飛び火等による延焼防止を行う水幕ノズル



消火用ドローン

- ・上空から遠隔操作で消火（消火剤の散布）できる消火用ドローン

○導入例

- ・R6.1.2羽田空港での航空機火災において、別機種 of 消火用ロボットを活用。

- ・製品として発売済み。
- ・那覇市消防本部にて導入実績あり。

- ・実用化済みであるが、消火活動での活用事例は未把握。

○活用想定

- ・浸水想定区域等での活用

- ・消防隊員待避後の延焼防止に活用

- ・浸水想定区域等での活用